

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【公開番号】特開2006-33116(P2006-33116A)
 【公開日】平成18年2月2日(2006.2.2)
 【年通号数】公開・登録公報2006-005
 【出願番号】特願2004-205513(P2004-205513)
 【国際特許分類】

H 0 4 M 3/54 (2006.01)

H 0 4 M 3/00 (2006.01)

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 3/54

H 0 4 M 3/00 B

H 0 4 M 11/00 3 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月9日(2006.3.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の電話端末との間で呼接続処理を行う呼接続処理手段と前記電話端末毎の電話機能の設定制御を行うアプリケーション制御手段とを備え、前記電話端末は、ログオンすることにより呼の発着信を可能とする電話システムにおいて、前記アプリケーション制御手段にコマンドを送信して電話機能が設定できる電話端末と、前記いずれかの電話端末から、第1の電話端末への呼を第2の電話端末に転送する転送電話のコマンドを受信した場合、前記転送電話を設定するとともに、内部タイマを参照して、前記第2の電話端末がログオフをしてから所定の時間が経過すると前記第1の電話端末に係わる前記設定を解除するアプリケーション制御手段を具備することを特徴とする電話システム。

【請求項2】

複数のSIP電話端末との間で呼接続処理を行う呼接続処理手段と前記SIP電話端末毎の電話機能の設定制御を行うアプリケーション制御手段とを備える電話システムにおいて、前記アプリケーション制御手段にコマンドを送信して電話機能を設定する複数のSIP電話端末と、前記いずれかのSIP電話端末から第1の前記SIP電話端末への呼を第2の前記SIP電話端末に転送する転送電話のコマンドを受信した場合、前記転送電話を設定するとともに、内部タイマを参照して、前記第2のSIP電話端末がログオフをしてから所定の時間が経過すると前記第1の電話端末に係わる前記設定を解除するアプリケーション制御手段とを具備することを特徴とする電話システム。

【請求項3】

複数のSIP電話端末との間で呼接続処理を行う呼接続処理手段と前記SIP電話端末毎の電話機能の設定制御を行うアプリケーション制御手段とを備える電話システムにおい

て

前記アプリケーション制御手段にコマンドを送信して電話機能を設定する複数のSIP電話端末と、

前記いずれかのSIP電話端末から第1の前記SIP電話端末への呼を第2の前記SIP電話端末に転送する転送電話のコマンドを受信した場合、前記転送電話を設定するとともに、内部タイマを参照して、前記第2のSIP電話端末が通話終了をしてから所定の時間が経過すると前記第1の電話端末に係わる前記設定を解除するアプリケーション制御手段とを具備することを

特徴とする電話システム。

【請求項4】

SIP電話端末との間で呼接続処理を行う呼接続処理手段と前記SIP電話端末毎の電話機能の設定制御を行うアプリケーション制御手段とを備える電話システムにおいて、前記アプリケーション制御手段にコマンドを送信して電話機能を設定する複数のSIP電話端末と、

前記いずれかのSIP端末から第1の前記SIP電話端末への呼を第2の前記SIP電話端末に転送する転送電話を設定するコマンドを受信した場合、前記転送電話を設定するとともに、内部タイマを参照して前記設定をした時刻から所定の時間が経過すると前記第1の電話端末に係わる前記設定を解除するアプリケーション制御手段とを具備することを特徴とする電話システム。

【請求項5】

SIP電話端末との間で呼接続処理を行う呼接続処理手段と前記SIP電話端末毎の電話機能の設定制御を行うアプリケーション制御手段とを備えるSIP電話システムにおいて、

前記アプリケーション制御手段にコマンドを送信して電話機能を設定する複数のSIP電話端末と、

前記いずれかのSIP電話端末から第1の前記SIP電話端末への呼を第2の前記SIP電話端末に転送する転送電話を設定するコマンドを受信した場合、前記転送電話を設定するとともに、内部タイマを参照して前記転送電話の設定が行われた翌日になると前記第1の電話端末に係わる前記設定を解除するアプリケーション制御手段とを具備することを特徴とする電話システム。

【請求項6】

前記所定の時間は、

前記SIP電話端末から前記アプリケーション制御手段に送信されるコマンドによって設定されることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1つに記載の電話システム。

【請求項7】

前記SIP電話端末から、そのSIP電話端末のユーザ宛の呼を転送するか、又は前記ユーザを特定せずにその電話番号への呼を転送するかを選択するコマンドが前記アプリケーション制御手段に送信されることを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1つに記載の電話システム。

【請求項8】

前記呼接続処理手段に送信された発呼が前記設定された転送の転送元である前記SIP電話端末のユーザとして登録されたユーザからの発呼である場合、

前記アプリケーション手段は、前記第1の電話端末に係わる前記設定を解除することを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1つに記載の電話システム。

【請求項9】

複数のSIP電話端末との間で呼接続処理を行う呼接続処理手段と前記SIP電話端末毎の電話機能の設定制御を行うアプリケーション制御手段とを備える電話システムの通信制御方法において、

前記SIP電話端末は、

第1の前記SIP電話端末への呼を第2の前記SIP電話端末に転送する転送電話を設定

するコマンドを前記アプリケーション制御手段に送信し、
前記コマンドを受信した前記アプリケーション制御手段は、前記転送電話を設定するとともに、内部タイマを参照して前記第2のSIP電話端末がログオフ、又は通話終了をしてから所定の時間が経過すると前記第1の電話端末に係わる前記設定を解除することを特徴とする電話システムの通信制御方法。

【請求項10】

複数のSIP電話端末との間で呼接続処理を行う呼接続処理手段と前記SIP電話端末毎の電話機能の設定制御を行うアプリケーション制御手段とを備える電話システムの通信制御方法において、

前記SIP電話端末は、

第1の前記SIP電話端末への呼を第2の前記SIP電話端末に転送する転送電話を設定するコマンドを前記アプリケーション制御手段に送信し、

前記コマンドを受信した前記アプリケーション制御手段は、前記転送電話を設定するとともに、内部タイマを参照して前記設定を行ってから所定の時間が経過すると前記第1の電話端末に係わる前記設定を解除することを特徴とする電話システムの通信制御方法。

【請求項11】

複数のSIP電話端末との間で呼接続処理を行う呼接続処理手段と前記SIP電話端末毎の電話機能の設定制御を行うアプリケーション制御手段とを備える電話システムの通信制御方法において、

前記SIP電話端末は、

第1の前記SIP電話端末への呼を第2の前記SIP電話端末に転送する転送電話を設定するコマンドを前記アプリケーション制御手段に送信し、

前記コマンドを受信した前記アプリケーション制御手段は、前記転送電話を設定するとともに、内部タイマを参照して前記設定を行った翌日になると前記第1の電話端末に係わる前記設定を解除することを特徴とする電話システムの通信制御方法。

【請求項12】

前記呼接続処理手段に送信された発呼が、前記設定された転送の転送元である前記SIP電話端末のユーザとして登録されたユーザからの発呼要求である場合、

前記アプリケーション手段は、前記第1の電話端末に係わる前記設定を解除することを特徴とする請求項9乃至11のいずれか1つに記載の電話システムの通信制御方法。

【請求項13】

複数のSIP電話端末との間で呼接続処理を行う呼接続処理手段を備えた電話システムにて利用され、前記SIP電話端末毎の電話機能の設定制御を行う電話システムのアプリケーション制御装置において、

いずれかの前記SIP電話端末からIPネットワークを介して第1の前記SIP電話端末への呼を第2の前記SIP電話端末に転送する転送電話を設定するコマンドを受信した場合、前記転送電話を設定するとともに前記第2のSIP電話端末がログオフ、又は通話を終了してから所定の時間が経過すると前記第1の電話端末に係わる前記設定を解除する制御を行う制御手段を備える

ことを特徴とする電話システムのアプリケーション制御装置。

【請求項14】

複数のSIP電話端末との間で呼接続処理を行う呼接続処理手段を備えた電話システムにて利用され、前記SIP電話端末毎の電話機能の設定制御を行う電話システムのアプリケーション制御装置において、

いずれかの前記SIP電話端末からIPネットワークを介して第1の前記SIP電話端末への呼を第2の前記SIP電話端末に転送する転送電話を設定するコマンドを受信した場合、前記転送電話を設定するとともに前記設定を行ってから所定の時間が経過すると前記

第 1 の電話端末に係わる前記設定を解除する制御を行う制御手段を備える
ことを特徴とする電話システムのアプリケーション制御装置

【請求項 15】

前記呼接続処理手段に送信された発呼が、前記設定された転送の転送元である前記 SIP 電話端末のユーザとして登録されたユーザからの発呼である場合、前記アプリケーション手段は、前記第 1 の電話端末に係わる前記設定を解除することを特徴とする請求項 13 または 14 に記載の電話システムのアプリケーション制御装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】電話システム、その通信制御方法、およびアプリケーション制御装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、転送電話を行う電話システム、その通信制御方法、およびアプリケーション制御装置に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は上記問題を解決するためになされたもので、転送電話の設定の解除を忘れても転送解除が可能な電話システム、その通信制御方法、およびアプリケーション制御装置を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するために、本発明の電話システムは、複数の電話端末との間で呼接続処理を行う呼接続処理手段と前記電話端末毎の電話機能の設定制御を行うアプリケーション制御手段とを備え、前記電話端末は、ログオンすることにより呼の発着信を可能とする電話システムにおいて、前記アプリケーション制御手段にコマンドを送信して電話機能が設定できる電話端末と、前記いずれかの電話端末から、第 1 の電話端末への呼を第 2 の電話端末に転送する転送電話のコマンドを受信した場合、前記転送電話を設定するとともに、内部タイマを参照して、前記第 2 の電話端末がログオフをしてから所定の時間が経過すると前記第 1 の電話端末に係わる前記設定を解除するアプリケーション制御手段を具備することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

また、本発明の電話システムの通信制御方法は、複数のS I P電話端末との間で呼接続処理を行う呼接続処理手段と前記S I P電話端末毎の電話機能の設定制御を行うアプリケーション制御手段とを備える電話システムの通信制御方法において、前記S I P電話端末は、第1の前記S I P電話端末への呼を第2の前記S I P電話端末に転送する転送電話を設定するコマンドを前記アプリケーション制御手段に送信し、前記コマンドを受信した前記アプリケーション制御手段は、前記転送電話を設定するとともに、内部タイマを参照して前記第2のS I P電話端末がログオフ、又は通話終了をしてから所定の時間が経過すると前記第1の電話端末に係わる前記設定を解除することを特徴とする。

【 手 続 補 正 7 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 8

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 8 】

また、本発明のS I P電話システムのアプリケーション制御装置は、複数のS I P電話端末との間で呼接続処理を行う呼接続処理手段を備えた電話システムにて利用され、前記S I P電話端末毎の電話機能の設定制御を行う電話システムのアプリケーション制御装置において、

いずれかの前記S I P電話端末からI Pネットワークを介して第1の前記S I P電話端末への呼を第2の前記S I P電話端末に転送する転送電話を設定するコマンドを受信した場合、前記転送電話を設定するとともに前記第2のS I P電話端末がログオフ、又は通話を終了してから所定の時間が経過すると前記第1の電話端末に係わる前記設定を解除する制御を行う制御手段を備える

ことを特徴とする。

【 手 続 補 正 8 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 9

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 9 】

本発明によれば、S I P電話端末のログオン状態を監視して電話サービスを制御するアプリケーション制御手段に転送電話が設定された場合、所定の時間が経過すると転送電話の設定を解除する。